

ODA建設工事安全管理ガイドンス (別添3)



安全へのTips (教育、周知資料作成例)

注) イラストはAIを活用して作成しています。
AI で生成されたコンテンツは誤りを含む可能性があります。



資料4 別添（落下（足場1））

<p>高所作業（墜落リスク） 左下の参考イラストの状況では墜落のリスクがあります。</p>	<p>対策</p>
<p>1) 広い開口部での作業 2) 接手金具や布板のゆるみがないか</p>	<p>1) 開口部に 単管や筋交などを設置する。 接手金具や布板の点検</p> <p>2) 墜落の可能性が除去できない場合に安全帯（墜落制止用器具）を使用</p>

（参考イラスト）



<p>高所作業 足場でのリスク</p> 	
--	---

以下のようなポスターも効果があります。

<p>日本語</p>  <p>高所作業の 墜落防止</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ 手すりを設置する ✓ 墜落制止用器具を使用する 	<p>英語</p>  <p>FALL PREVENTION FOR HIGH PLACE WORK</p> <ul style="list-style-type: none"> ✓ Install handrails ✓ Use fall arrest equipment
---	--





<p>左下の参考イラストは、開発途上国の現場でよくみられる足場のイメージです。</p>	<p>対策</p>
<p>1) 単管フレームだけ組み立てて、作業が必要なところに布板を置くというものです。</p> <p>2) 足場材が節約されるため仮設工のコストがかからず、また、足場材があまり市場にない国の場合には合理的ではありません。</p> <p>3) しかし、筋交いもなくまた、しっかりとフレームが組み立てられているのか確認ができないこと。また、足場板を動かすたびにフレームに固定しますが、ちゃんと固定できておらず布板が動いて危険な状況となることがあります。</p>	<p>1) 足場も構造物として十分に頑強な構造にする必要があります。</p> <p>2) 作業者の安全を守るために、頑強な構造にするだけでなく、日々の足場点検が重要となります。</p> <p>作業員の安全な行動に言及した 下のような案内板も有効です。</p>

(参考イラスト)

<p>高所作業 足場でのリスク</p>	
	

以下のようなポスターも効果があります。

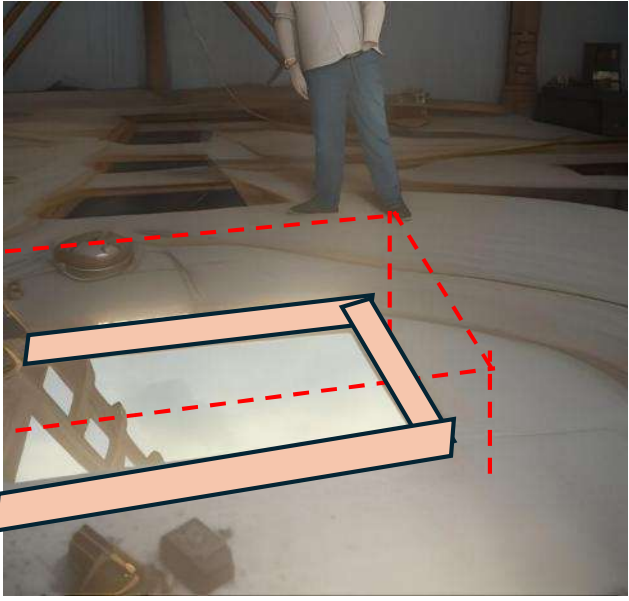

PROPER ASSEMBLY OF TEMPORARY SCAFFOLDING

<p>✔️ CORRECT USE OF SAFETY HARNESS</p> 	<p>✔️ WEAR A HELMET</p> 
<p>✔️ INSTALL GUARDRAILS, MIDRAILS, AND TOE BOARDS</p> 	<p>✔️ MAINTAIN A STABLE POSTURE WHEN PASSING MATERIALS</p> 

資料4 別添（（落下（転落）））

開口部周りの転落リスク	第三者への影響
重層構造の構造物など、下層に転落する恐れがある場合には、立ち入り禁止措置や物の落下防止策など適切な対応が必要です。	また、第三者が現場に侵入することによる災害リスクもあります。しっかりと管理をしてください。

(参考イラスト)

開口部周りのリスク	第三者にも注意
	



滑動・転倒	対策
携帯をかけながらの作業のリスク 1) 注意力が散漫になります。 2) この事例ではバランスを崩し転倒した際に、指がはしごにあたり、けがをしました。	1) ながら作業は注意力が低下します。 2) 実際に事故になった事例があります。 3) 作業所場内でのルールを定め、場内に表示し、朝礼や安全大会でも説明を徹底しましょう。

(参考イラスト)

転倒のリスク	以下のようなポスターも効果があります。
	 <p>通話しながら 飲食しながら タバコを 吸いながら</p>

重機リスク	対策
<p>重機のアームに衝突する可能性があります。</p> <p>1) どこまで近づけるのかわかりません</p> <p>2) 誰もリスクを教えてくれません</p> <p>3) クレーンの操縦士があなたに気づいていないかもしれません</p>	<p>1) 立ち入り禁止区域を示します。</p> <p>2) 人が立ち入る可能性がある場合はクレーンの誘導員を配置することも検討ください。</p> <p>3) クレーンの操縦士は誘導員の誘導を守ります。</p> <p>4) また、場内での安全通路の設置、通行経路の周知も必要</p>

(参考イラスト)

クレーンの周囲に注意のためのコーンや案内板、誘導員が置かれていない状態	アームの旋回範囲内に立ち入らないようにコーンの設置、また誘導員の配置を行った状態
	

以下のようなポスターも効果があります。

日本語	英語
<p>吊り荷の下は危険！ 絶対に入らな！</p>  <ul style="list-style-type: none"> ✓ 吊り荷の下には絶対に入らない！ ✓ 作業前に周囲の安全確認を徹底！ ✓ クレーン作業中は合図者の指示に従う 	<p>DANGER UNDER SUSPENDED LOADS! DO NOT ENTER!</p>  <ul style="list-style-type: none"> ✓ Never stand under suspended loads! ✓ Check surroundings for safety before work! ✓ Follow the signalman's instructions during crane operations.

資料4 別添（重機（転倒））

重機の転倒リスク	作業員の保全
<p>軟弱地盤、地盤の傾き、重量物の搬入など、重機が不安定になり転倒するリスクがあります</p>	<p>1) 作業時にはアウトリガーをしっかりと張り出す。</p> <p>2) 定格以上の貨物を吊らない、多重操作を行わない</p> <p>3) アウトリガーやクレーン本体の下に鉄板を引いておくなど 様々な対処方法があると考えます。</p> <p>4) 操縦士の安全のために ヘルメットやシートベルトの着用、教育訓練、誘導員の配置など、安全確保のための対応が必要です</p>



（参考イラスト）

<p>重機の転倒リスク</p>	<p>発生しうるリスクを想定し、オペレーターに対するヘルメットやシートベルト着用などの必要な防護を行うことも必要です。</p>
-----------------	---




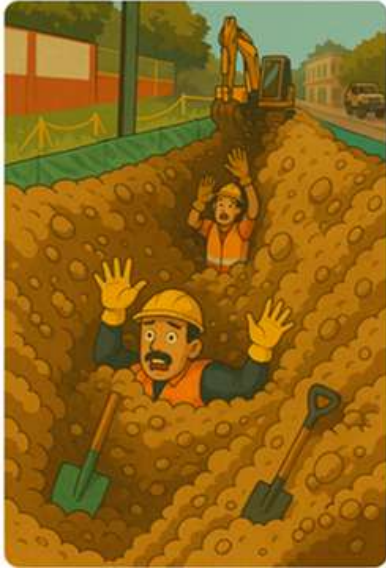
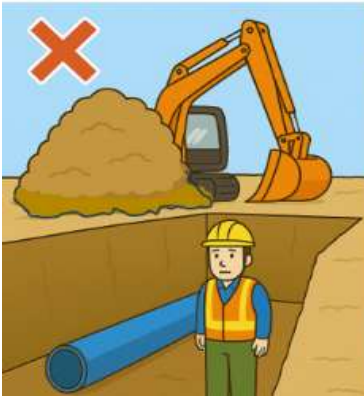

リスク対策の考え方	対応
<p>1) 作業休憩中はバケット等があがっている状態放置(左下のイラスト)せず、必ず荷重がかからないように最下点まで下げる(右下のイラスト)が適当です。</p>	<p>1) クレーン作業休止中は荷重がかからない状態にしておく(作業中は運転士は運転席から離れない)</p> <p>2) 高所作業車は作業台を最下点まで下げた状態</p> <p>3) 運転士が自運転席から離れる場合は、必ずバケット等は最下点まで下げて、荷重がかかっていない状態とする。エンジンを切って、確実に止まったことを確認したうえで、離席する。</p> <p>4) また、ブレーキをしっかりと掛ける。また車止めなどで押さえるなどの方策も行ってください。</p>

(参考イラスト)

重機の休止中のリスク 作業休憩中、正しくない状況	運転士が重機から離れる場合の正しいバケットの位置
	

残土仮置ききの発生リスク	対応
<p>残土の仮置き場（左下①のイラストの状況）</p> <p>1) 作業場の至近に残土が積まれている。 2) 危険であることの表示がなされていない。</p> <p>残土が崩壊し、作業場内に流入した場合には事故となり、以下の危険が想定されます。</p> <p>a) 土砂による圧迫がかかることで、膝まででも、捻挫や挫傷の恐れ。腰まででも血流障害などの恐れがあります。</p> <p>b) 胸までつかると圧迫による呼吸困難や窒息状態、内臓への悪影響など</p> <p>c) 1m³の土砂は2トン近い質量があり、1.8mの高さから落ちてきたときは20km/時以上の速度があり、直撃したときの衝撃もかなり大きなものとなり、この点でも非常に危険です。</p>	<p>1) 残土置き場については安全な場所を指定する。</p> <p>2) 掘削箇所から一定の距離を置くとともに、コーン等で明確にする</p>

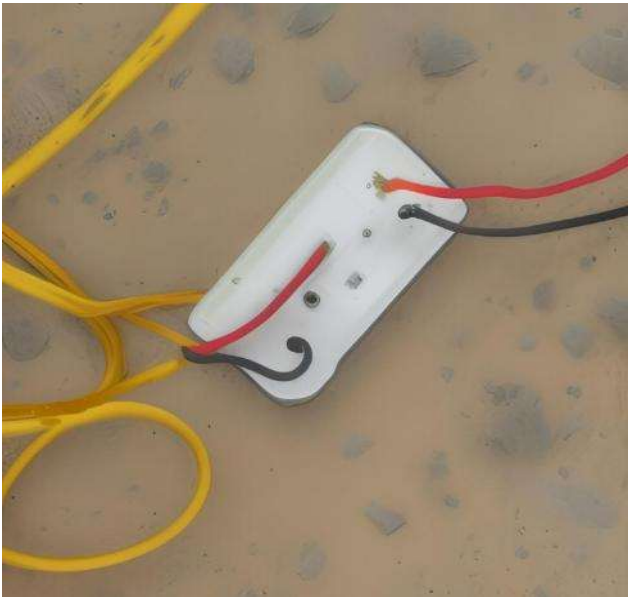
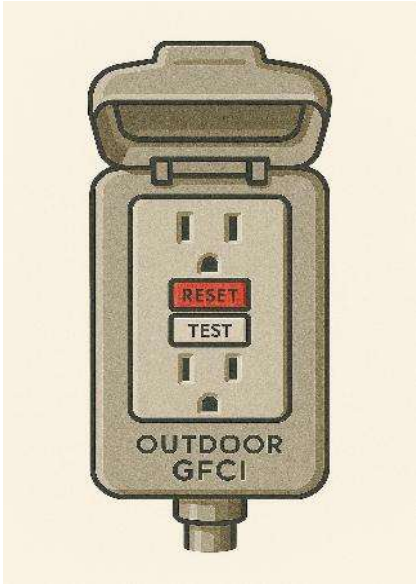
（参考イラスト）

残土のリスク	
<p>①</p> 	<p>②</p> 
<p>③</p> 	<p>④</p> 

資料4 別添（感電（不良接続））

不適切な電気器具の使用	対策
<p>上記のイラストは、コンセントを正しく使っていないこと、また、地面に直置きをしており、水にあたることによる感電、ショートなどによる火災のリスクがあります。</p>	<p>防水カバーをつける、湿度の低いところ。排水が適切に行われ水にぬれないところに設置するなどの対応が必要です。</p>

（参考イラスト）

不適切なコンセントの使用	カバー付き、漏電防止などのコンセント
	

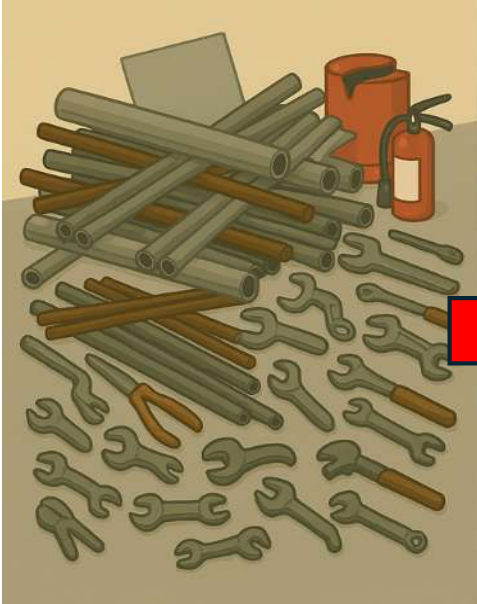

高圧線下での作業	
高圧線下での作業で、クレーン車などのアームが接触しないように注意する	接触をしない場合でも、誘導電流による感電の恐れもあります。

（参考イラスト）

高圧線に注意	接触せずとも感電することあり。 誘導電流による感電にも注意する
	



リスク対策の考え方	対応
<p>左下の図の通り、物品が乱雑に置かれ、積まれていると、躓き、荷崩れによる挟まれ、打撲、下敷き等の事故の発生の恐れがあります。整理整頓がなされていないことにより、消火器や医用品の取り出しの遅れ等による火災や傷害への対応の遅れも想定されます。</p>	<p>整理整頓と置き場の分類、通路の確保を行うことは重要です。また、ごみ箱、消火器、医用品、緊急連絡先リストなどがすぐに見えるようにしておくことも重要です。</p>

（参考イラスト）

<p>物が乱雑に置かれ整理されていない状況</p>	<p>整理整頓され、ごみの容器が分別され置かれている状況。 また、消火器や救急医療品が取り出しやすいように整理されている。</p>
	

服装の課題	対応
<p>作業服・作業靴、保護帽</p> <p>左下のイラストの問題</p> <p>1) 作業区域内でヘルメットをかぶっていない作業員がいる(麦藁帽など)。</p> <p>2) サンダル履きの存在</p> <p>3) 半袖で肌露出</p>	<p>上の写真のように入り口に鏡と標準的な服装を示すのは好事例です。</p> <p>1) 転落・滑動や飛来物が来た時のために、保護帽で頭を守ります。</p> <p>2) ものが落ちてくる、躓くなどの対策のため安全靴の着用</p> <p>3) 擦り傷や切り傷防止、日射の影響軽減のために長袖の作業用着の着用</p>

(参考イラスト)

服装のリスク	
	

資料4 別添（労働衛生/休息環境）

リスク対策の考え方	対応
<p>休憩は労働の間に休み、疲労を回復させ、効率的に業務を再開できるようにする行為であり、休める空間を作ることが重要です。</p>	<p>十分な広さの休息所を確保し、日よけ、給水所、手洗い場、温度計、救急用品などを整備することが重要です。また、現地の習慣や宗教、また、性別などにも理解した工夫も行ってください。</p>

（参考イラスト）

人が休める状態にない状況	休むために必要な環境が整備されている状況
	